

第1回 千曲市地域防災拠点・道の駅推進協議会 議事録

日時：令和7年6月30日（月）午後2時00分～

場所：八幡公民館 2階講堂

出席者：下寄委員（会長）、徳原委員（副会長）、福上委員、タイラー委員、上水委員、
安藤委員、大谷委員、小沼委員、高橋委員、宮本委員、西野委員、関委員、小笠原委員
事務局：公民共創推進室、危機管理防災課

議事

（1）開会

（2）あいさつ

市長からのメッセージを披露した。

（3）委員紹介

事務局より各委員の紹介を行った。

（4）会長、副会長の選出

委員全員の賛同を得て、会長に下寄委員、副会長に徳原委員が選出された。

【会長あいさつ】

- ・道の駅は公的な機関としての役割が非常に高い消費者へ千曲市のPRができると考えている。
- ・全国に道の駅が1,230箇所ある。制度ができて32年経ち、長野県では、54箇所ある。
- ・基本構想のパブリックコメント結果は87件意見や質問があった。意見等の7割以上に「基本計画の中で検討」という回答だった。基本計画を協議するこの協議会は非常に重要な役割だと感じている。
- ・基本構想では市民の声が十分反映されなかった、あるいは国・県との調整もまだまだできてないという状況の中で市民の合意が得られ、国・県の理解を得ていただけるよう委員に協力いただきたい。

（5）会議事項

1. 千曲市地域防災拠点・道の駅推進協議会の目的・今後の予定について

事務局より「資料3 基本計画策定に関する資料」について説明を行った。

【質疑応答なし】

2. 千曲市地域防災拠点・道の駅基本構想説明について

事務局より「資料 4 千曲市地域防災拠点・道の駅基本構想 概要版」について説明を行った。

(委員)

2 点質問がある。

①防災と地域振興の目的があるが、目的が防災なのか地域振興なのか？

(事務局)

平時は地域振興であり防災の部分で設備として備えはしており、防災のために観光を邪魔することは考えていない。基本的には地域振興の施設という理解でよい。

(委員)

②森地区のあんず物産館の立ち位置はどうなるのか？物産館は閉鎖し、八幡の道の駅に全部機能を移すのか？

(事務局)

屋代と相乗効果が出るような形で盛り上げていければという考え。（閉鎖という考えではない。）

(委員)

消防の立場からの質問だが、何かあった場合他県から消防隊を呼ぶ体制をとることが多々ある。消防隊を呼んで、そこに消防車両を置くという施設が非常に少ない。そういったことから消防としてはそこに消防隊等の車両が来たときに集結場所にしたい。また、一時的にそこで宿泊するというようなことも、消防の立場としては利用させていただきたい。そういった利用方法でもメインは住民の方々の防災なのは分かっているが、消防隊の活用ということでも問題ないという認識でよいのか？

(事務局)

市議会の方で質問が出る中で市長の答弁の中でもそういった援助隊の拠点となるような施設にも機能も持たせていきたいということは市長から答弁の中で申し上げている。機能の中にはそういったものも考えていきたい。今後基本計画の中で折り込んでいけたらと考えている。

(委員)

ガソリンスタンド等もあり、能登半島地震のときでもガソリンスタンドが遠くにあり大変であったということを聞く。非常に防災に長所がある場所と考えている。

(委員)

売り上げ、経費等含めた事業計画として中長期のシミュレーションをしていかないといけない。民間の事業者を入れて運営ということであると、ここの協議会はどこまで進めるのかを今の段階で見えない。事業者が協議会に直接入ったほうがいいのでは。この協議会でどこまで決めるのか？

(事務局)

基本計画策定にあたって当事業に対する道の駅運営者のヒアリング等も行っている。協議会の中ではヒアリングの結果等も踏まえながら検討を進めていきたい。

(委員)

計画の中に農産物直売所の計画が入っているが、直売所は生産者の持ち込み販売の方向でいくのか、それとも仕入れ販売の方向で考えているのか？

(事務局)

運営者ヒアリングの中では出荷者団体を作って運営者と出荷者団体でやり取りをしている道の駅もある。事例等を調べながら検討していきたい。

(委員)

子育てという点で佐久穂町の道の駅はメインの建物の2階が広く遊び場になっている。猛暑、雨の日雪の日どんな天候でも遊べる屋内の施設がある道の駅は理想の形と考える。年齢制限なく遊べる安全な屋内の遊び場が道の駅に作れたらいい。屋内では難しいとしても大きなひさしがあるとよい。

(事務局)

運営者ヒアリングも参考に、どういうものがこの地域に必要なのか検討したい。

(委員)

方向性、コンセプト、ターゲットは？

(事務局)

観光振興なのか地元の購買を重視するのか運営者ヒアリングの意見含めこの協議会でも検討していきたい。目的地化できる道の駅が必要という考えがありつつも、財政の面や運営者の意向というのは非常に大事にしたい。コンセプトから決めていきたい。

(委員)

ターゲットを決めるところが重要。道の駅で遊んで上山田温泉で泊まるといった相乗効果を市全体で計画してほしい。

(事務局)

ご指摘事項も踏まえ検討していく。

(6) その他

意見交換（各委員からの発言）

- ・（令和7年3月市が開催した）視察を通じて他の道の駅を学ぶ必要性を実感。
- ・「食」で惹きつける道の駅に温泉要素も加われば良いPRになると考える。
- ・地元の特産品を販売する場として道の駅の役割に期待。
- ・野沢温泉ではプロのブランディング支援により特産品販売改革が進んだ事例あり。
- ・千曲市も「千曲ブランド」の強化と販売面のサポートを期待したい。
- ・防災拠点としての活用もあるが、主に観光目的が中心と考える。
- ・「通過点」ではなく「目的地」として人が集まる仕掛けが必要。
- ・道の駅があれば障がい者の就労機会や交流の場にもなる可能性あり。
- ・開設時期のスケジュールについて質問あり→現時点では未定だが、基本計画の中で検討していく旨の回答。
- ・直売所機能の強化により農家が収益を得られる仕組みを望む。
- ・杏をはじめとした果物の出荷に地の利があるため、農業振興に活用したい。
- ・観光客100万人、宿泊客30万人という現状に道の駅がどう貢献するかが重要。
- ・観光、生活両面の動線整備がカギ。
- ・「持続可能な施設」とするためには収益性・運営基盤の確保が必要。
- ・「道の駅に行くために千曲市に来る」という目的地型施設を目指すべき。
- ・エンタメ要素の導入についても関心あり。
- ・次世代に誇れる施設とするため、意見交換を大切にしたい。
- ・「目的地型の道の駅」＋「収益確保の仕組み」が必要。

- ・ 杏・味噌・日本酒など千曲らしい名物や体験要素が必要と考える。
- ・ 次世代にプラスとなる施設を残せるように意見交換しながら考えていきたい。
- ・ 計画初期段階だが課題は山積。
- ・ 赤字経営のリスクを避けるため、地域特産品の掘り起こしや交通への配慮も必要。
- ・ 高齢化で耕作放棄の懸念ある棚田保全活動と道の駅の連携に期待。
- ・ 農家が参加しやすい仕組みづくりを通じて、地域活性や荒廃農地対策にも貢献できる。
- ・ 防災的には安全な場所。市のハザードマップ上も安心。
- ・ 文化財が多く、魅力の発信もしやすい。

(7) 閉会

【次回の案内】

第2回協議会 令和7年7月30日水曜日 14時～市役所の会議室で開催。